

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フィーカ長沢		
○保護者評価実施期間	令和7年12月22日	～	令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日	～	令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが安心して「行きたい」と思える事業所である	アセスメントや契約時面談での基本情報を基に、お子さまの特性を全指導員がしっかりと把握すること。まずはお子さまとの信頼関係を結ぶこと。お子さまの「その日」の「その姿」を大切にすること。その上で、今のお子さまに必要なアプローチを提供していく。	活動内容がマンネリ化しないように、そのお子さまの発達段階に合わせて、「ちょっと頑張ったらできそう」なラインを見極めていく。お子さまが自発的に挑戦することができて、楽しむことができるような環境づくりをさらに進めていく。
2	保護者さまからの信頼と評価	迅速丁寧な対応を心掛けている。お子さまのみならず保護者さまの気持ちにも寄り添い、保護者さまの想いを真摯に受け止めていく。その上で、事業所として協力できることについては叶う限り対応している。	慢心することなく、あくまで私たち指導員は「保護者さまから大切な命（お子さま）をお預かりしている立場である」ことを忘れることなく、保護者さまの気持ちに寄り添った対応を心掛けていく。
3	指導員の専門性	幼稚園教諭や保育士、放課後児童支援員、社会福祉士等の資格を保有し、経験から得た指導員それぞれの強みや視点から、さまざまなプログラムや関わりを提供している。また、それぞれの経験に基づいて、保護者さまからのご相談にお応えできる体制がある。	指導員それぞれが経験に基づくものだけでなく、自己研鑽することによって、新たな発見やモチベーションに繋がることもあるので、この仕事の素晴らしさや大切さや意味を感じながら、熱意を持って従事していくことを求めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外活動および他機関交流ができない	複数の保育園、幼稚園からのお預かりとなり、園の給食の時間に合わせてそれぞれが帰園するので、そろって外出する時間の確保が困難である。	事業所での活動時間が相当短くなってしまいが、保護者さまのご意見もしっかり聞き、必要に応じて事業所外での活動を検討していく。
2	保護者会の開催やイベント等で保護者さま同士が交流できる機会が持てなかった	開所から1年が経とうとしており、ようやくお子さまが増えてきたということもあり、保護者会やイベントを開催するに至らなかった。土日祝が休所ということもあり、日時設定も難しい。	「保護者同士でも話してみたい」というご意見も保護者さまからいただいているので、保護者会やイベントを開催することを検討していきたい。ただし、ご勤務されている保護者さまがほとんどであることから平日の開催は難しいと思われる。
3	地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所が住宅街にあるため、近隣のご家庭にはご挨拶したり、良好な関係性を保っているが、お預かりしているお子さまが地域と交流を図る機会がないため、事業所のさらなる認知が必要。	近隣農家さんなどにお声がけし、子どもたちが楽しみながら活躍できる場所がないか模索していく。